

平成 26 年度 上白根小学校「交通バリアフリー教室」における出前講座『もっと知りたい「バス」のこと』の実施報告

はじめに

- 横浜市立上白根小学校において、国土交通省関東運輸局神奈川運輸支局が主催する「交通バリアフリー教室」が開催され、その中で出前講座『もっと知りたい「バス」のこと』を実施しました。
- 上白根小学校は、JR 横浜線 中山駅と、相鉄本線 鶴ヶ峰駅までそれぞれ約 2.5km の位置にあります。
- 駅まで、バスや自転車がよく利用される地域であり、多くの子供たちはバスを身近な乗り物として認識しています。

1 交通バリアフリー教室の全体概要

- 交通バリアフリー教室では、横浜市が担当した出前講座とともに、ノンステップバスや車いす等を使った体験プログラムも行われました。
- 教室は大きく5つの内容に分かれており、全員で①車いすを利用していらっしゃる方からの講話を受けた後、クラスごとに分かれて、②車いす利用体験・介助体験、③視覚障害者の疑似体験・介助体験、④バスの乗り方教室、⑤出前講座『もっと知りたい「バス」のこと』を学びました。
- 横浜市は⑤の出前講座にて、横浜市のバスをとりまく現状やモビリティマネジメントの大切さを伝え、バスのバリアフリーについても紹介しました。

■交通バリアフリー教室について

【日時】平成 26 年 11 月 11 日(火)
3・4 校時 (10:00~12:10)

【対象】上白根小学校
5 年生 1~3 組 (127 名)

【内容】①心のバリアフリーに関する講話
②車いす利用体験・介助体験
③視覚障害者の疑似体験・介助体験
④バスの乗り方教室
⑤出前講座『もっと知りたい「バス」のこと』

分かれて順次実施



心のバリアフリー講話



車いす利用体験・介助体験



車いす利用体験・介助体験



視覚障害者の疑似体験・介助体験



視覚障害者の疑似体験・介助体験



出前講座

2 出前講座『もっと知りたい「バス」のこと』の開催報告

- 座学では、『もっと知りたい「バス」のこと』と題して、バスの役割や横浜市内のバスの利用状況を中心に授業を行いました。
- その上で、バスの利用者が減少すると「近い将来、バスが無くなってしまう」可能性もあることを、マンガリーフレットを用いて伝えました。
- また「便利なクルマに頼りすぎず、バスで行ける所はバスで行く」など心がけてほしいことを伝え、最後にバスのバリアフリーの仕組みも紹介しました。
- 上白根小学校では、現在、バスを使っている子供たちが多くいました。そのため、「これからも、バスを上手に使って生活する」ことが大切であることを伝え、授業を終えました。



■座学に用いた教材

①説明用パワーポイント:もっと知りたい「バス」のこと



②マンガリーフレット



おわりに

- 子どもたちは今回の出前授業から、「自分たちがバスに乗らなくなるとバスがない未来になってしまう」ということを学び取ってくれました。
- またその上で、子どもたちは「車だけでなくもっとバスも使いたい」と思ってくれたようです。
- 子どもたちが、これからもバスを上手に使い、また、バスで困っている人をサポートしてくれることを期待したいと思います。



校内のバス車両(2台)



ノンステップバス